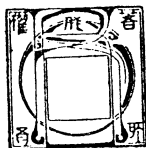


昭和三年十二月二十日印刷
昭和三年十二月廿三日發行



印刷發行
齋

發行所

東京市日本橋區馬喰町二丁目一丁目

東京市日本橋區馬喰町二丁目一番地
日本名著全集刊行會

代表者 石川寅吉

日本名著全集刊行會

電話 漢花一八四〇番一八四二番
振替 東京一八四四番

日本名著全集
第一期出版
江戸文藝之部
第二十七卷
俳文俳句集
(非賣品)

第四本

日本名著全集 第一期出版

「江戸文藝之部」全廿七卷及書目豫定一覽

(但し種々の事情により多少の變更あるべし。)

第二卷 西鶴名作集 上

○好色一代男 ○好色二代男 ○好色三代男 ○好色一代女 ○好色五人女 ○男色大鑑 ○武道傳來記 ○武家義理物語 ○蕪可笑記 ○西鶴諸國咄 ○懷硯 ○近代艶隠者 ○日本永代藏 ○世間胸算用 ○織留 ○本朝二十不孝 ○本朝櫻陰比事 ○西鶴置土産 ○萬の文反古 ○名残の友 ○俗つれ ○一目玉針

第三卷 芭蕉全集

正篇 ○俳句集 芭蕉句選 句選拾遺・補遺 ○連句集 江戸兩吟集・江戸三吟・次郎・能楽集・蕉近 ○俳文集 文集補遺 ○評言集 貝舌はひ・出合句・常盤句・合・初浪評注・猿の原 ○紀行集 甲子吟行・鹿島紀行・友の水・玄鏡紀行・奥の細道・嵯峨日記 ○書簡集 清見集・其跡集・補遺
外篇 ○虛栗 ○冬の日 ○蛙合 ○春の日 ○鶴の歩 ○曠野 ○其袋 ○瓢 ○猿袋 ○深川集

○炭俵 ○別座敷 ○笈日記 ○續猿蓑 ○韻箋 ○小文庫

附錄 枯尾花 ○芭蕉翁行狀記 ○金傳 ○芭蕉翁繪詞傳 ○年譜

第四卷 近松名作集 上 (第二回配本濟)

第五卷 下 (第六回配本濟)
○花山院后諍 ○世繼曾我 ○賢女手習并新曆 ○門出八島 ○凱陣八島 ○源氏烏帽子折 ○出世景清 ○團扇曾我 ○蟬丸 ○最明寺殿百人上臈 ○曾根崎心中 ○薩摩歌 ○雪女五枚羽子板 ○用明天皇職人鑑 ○心中二枚繪草紙 ○兼好法師物見車 ○茶盤太平記 ○卯月紅葉 ○堀河浪鼓 ○卯月の潤色 ○心中重井筒 ○傾城反魂香 ○心中萬年草 ○丹波與作待夜的小室節 ○淀鯉出世瀧徳 ○五十年忌歌念佛 ○桃狩劍本地 ○今宮の心中 ○百合若大臣野守鏡 ○心中刃は氷の朔日 ○夕霧阿波鳴渡

○吉野郡女楠 ○堀山姥 ○長町女腹切 ○冥途の飛脚 ○大經師昔曆 ○生玉心中 ○國性爺合戰 ○槍の雄三重帷子 ○山崎與次兵衛壽の門松 ○曾我會稽山 ○傾城酒吞童子 ○博多小女郎波枕 ○雙生隅田川 ○心中天網島 ○津國女夫池 ○女殺油地獄 ○信州川中島合戰 ○心中宵庚申 ○關八州聚馬

第六卷 淨瑠璃名作集上 (第十四回配本濟)

○曆 ○本海道虎石 ○心中涙の玉井 ○金屋金五郎浮名額 ○金屋金五郎後日雛形 ○枕久末松山 ○富仁親王嵯峨錦 ○お染久松袂の白しぼり ○鬼鹿毛無佐志鏝 ○愛護若時箱 ○傾城思升屋 ○八百屋お七 ○心中二つ腹帯 ○大塔宮囃燈 ○須磨都源平躑躅 ○鬼一法眼三略卷 ○壇浦兜軍記 ○蘆屋道滿大内鑑 ○荊荳桑門筑紫袴 ○敵討控樓錦 ○釜淵雙級巴 ○ひらかな盛衰記 ○夏祭浪花鏝 ○菅原傳授手習鑑 ○義經千本櫻 ○假名手本忠臣藏 ○双蝶々曲輪日記 ○一谷嫩軍記 ○本朝廿四孝 ○奥州安達原 ○關取千兩轡 ○近江源氏先陣館 ○神靈矢口渡 ○妹背山婦女庭訓 ○攝州合邦辻 ○新版歌祭文 ○伊賀越道中雙六 ○近頃河原達引 ○絲櫻本町育 ○繪本太閤記 ○名錄伽羅千代萩 ○鎌

倉三代記

第八卷 歌舞伎脚本集 (第十九回配本濟)

○大名なぐさみ會我 ○好色傳授 ○傾城淺間獄 ○桑名屋徳三入船物語 ○加賀山廓寫本 ○殿下茶屋聚 ○隅田川續傳 ○男伊達初買會我 ○あげまき助六廓の花見時 ○東海道四谷怪談 ○十六夜清心 ○忠臣藏年中行事

第九卷 浮世草子集 (第十六回配本濟)

○好色万金丹 ○御前義經記 ○けいせい色三味線 ○沖津白浪 ○傾城禁短氣 ○日本新永代藏 ○世間息子氣質 ○新小夜嵐 ○世間娘容氣 ○浮世親仁形氣

第十卷 怪談名作集 (第十二回配本濟)

○伽婢子 ○狗張子 ○怪談全書 ○英草紙 ○繁野話 ○雨月物語 ○唐錦 ○秀句冊 ○垣根草 ○漫遊記 ○附錄百鬼夜行繪卷

第十一卷 黄表紙廿五種 (第一回配本濟)

○金々先生榮花夢 ○親敵打腹鼓 ○長生見度記

○腔多雁取帳 ○狂言好野暮大名 ○大悲千祿本
 ○江戸生艶氣棒燒 ○莫切生根金生木 ○文武二道
 万石通 ○孔子縞子時藍染 ○心學早染草 ○即席
 耳學問 ○盧生夢魂其前日 ○馬廐長命子氣物語
 ○世上洒落見繪圖 ○桃太郎發端話説 ○十四傾城
 腹之内 ○金々先生造化夢 ○忠臣藏前世幕無
 世諺口紺屋雛形 ○稗史億說年代記 ○御詠染長壽
 小紋 ○的中地本問屋 ○人間萬事吹矢的 ○人間
 萬事吹矢的(草稿)

第十二卷 洒落本集

○傾城買四十八手 ○契情買虎の巻 ○嫖客三體誌
 ○娼妓胡飾 ○遊子方言 ○月花餘情 ○百花評林
 ○大抵御覽 ○異素六帖 ○廊中奇譚 ○底巳の園
 ○和唐珍解 ○通言總離 ○底巳婦言 ○令子洞房
 ○寸南破良意 ○仕懸文庫 ○猶射羅子 ○道中醉
 語錄 ○聖遊廓 ○錦の裏 ○三秋色 ○契國策
 眞女意題 ○甲驛夜の錦 ○田舎芝居 ○婦美車紫
 好 ○起承轉合 ○杵町甲閑 ○古契三唱 ○計都
 酒美撰 ○夜半の茶漬 ○志羅川夜船 ○穴學問
 ○狂調彙軌本紀 ○娼妃地理記 ○遊倦篇煙の巻
 ○女郎買精味喻汁 ○美地の蠟燭

第十三卷 讀本

集 (第七回配本濟)

○櫻姬全傳曙草紙 ○昔話稻妻表紙 ○本朝醉著提

○三七金傳南柯夢 ○占夢南柯後記 ○天羽衣 ○飛驒匠物語

第十四卷 滑稽本集 (第三回配本濟)

○風流志道軒傳 ○古朽木 ○阿多福假面 ○指面
 草 ○人遠茶懸物 ○無彈砂子 ○小紋雅話 ○奇
 妙圖彙 ○浮世風呂 ○早變胸機關 ○客者評判記
 ○浮世床 ○人間萬事虛誕計 ○同上後篇 ○假名
 手本藏意抄 ○一盃綺言 ○古今百馬鹿 ○八笑人
 七個人 ○柳巷詠言 ○市川評判團會堂の梅
 福來雀 ○一雅話三笑 ○言葉の花 ○綱の味喰津

第十五卷 人情本集 (第二十一回)

○春色梅曆 ○春色辰巳園 ○春色惠之花 ○英對暖
 ○梅見船 ○閑情末摘花 ○假名文章娘節用

第十六卷 南里見八犬傳 (第四回配本濟)

第十七卷 狂文狂歌集

○萬歲狂歌集 ○德和歌御萬歲集 ○狂歌才藏集
 ○貞德狂歌百首 ○建仁雄長老狂歌集 ○世の中百
 首 ○吾吟我集 ○狂和うた集 ○狂歌若葉集 ○

狂歌酒百首 其他

第廿一卷 修業田舎源氏上(第五回配本濟)
下(第五回配本濟)

第廿二卷 膝栗毛其他上(第十回配本濟)
下(第十一回配本濟)

第廿三卷 東海道中膝栗毛 ○續膝栗毛
南總記行旅眼石 ○江戸前斷綾 ○續々膝栗毛
落咄彌次郎口

第廿四卷 和文和歌集上(第十三回配本濟)
下(第二十回配本濟)

賀茂翁歌集 ○にひまなび ○歌意考 ○天降言
うけらが花 ○琴後集 ○楳取無彦家集 ○ひと
よはな ○東遊日次記 ○藤篋冊子 ○志濃夫適舍
家集 ○六帖詠草 ○同拾遺 ○桂園一枝 ○同拾
遺 ○亮々遺稿 ○浦のしほ貝 ○しのぶぐさ ○同拾
言道歌集 ○良寛歌集 ○女流歌文集

第廿六卷 川柳雜俳集(第八回配本濟)

武玉川十八篇 ○柳多留三十一篇 ○俳風柳多留
拾遺十篇 ○川傍柳五篇

第廿七卷 俳文俳句集

獨言 ○鬼貫句選 ○七事 ○とくくの句合
五元集 ○同拾遺 ○玄峯集 ○去來發句集 ○丈
草發句集 ○風俗文選 ○職人盡 ○鶉衣 ○千代
尼句集 ○松の聲 ○太祇句選 ○同後篇 ○春泥

發句集 ○樗良發句集 ○燕村句集 ○燕村文集

○蓼太句集 ○井萃集 ○青蕨發句集 ○白雄發句

集 ○曉臺發句集 ○關更發句集 ○俳さんげ

○枇杷園發句集 ○成美家集 ○道彦發句集 ○乙二

發句集 ○一茶句集 ○おらが春 ○屠龍之技 ○

みさこ

追加篇 歌謡音曲集

○義太夫(近松名作集及淨瑠璃名作集と
重複するものは之に採らず。)

○傾城阿波の鳴門(八つ目・願禮の段) ○艶容女舞

衣(下の巻・酒屋の段) ○戀娘昔八丈(下の巻・鈴ヶ

森の段) ○桂川連理櫓(下の巻・帶屋の段) ○廓

文章(吉田屋の段) ○傾城戀飛脚(下の巻・新口村

の段) ○碁太平記白石斷(七つ目・揚屋の段) ○

花上野響の石碑(四つ目・志渡寺の段) ○木下蔭狹

間合戦(七つ目・竹中陣屋の段) ○蝶花形名歌島臺

(八の切・小坂部館の段) ○三十三間堂棟由來(平

太郎住家の段) ○玉藻前囁扶(三の切・道春館の

段) ○八陣守護城(八の切・正清本城の段) ○生寫

朝顔日記(宿屋の段) ○壹坂靈驗記(澤市内の段) ○

○近江源氏先陣館(八つ目切・小四郎切腹の段) ○

鎌倉三代記(七の切・三浦別れの段) ○加々見山舊
錦繪(六の切・草履打の段) ○太平記忠臣講釋(七
つ目・喜内住家の段) ○祇園祭禮信仰記(四の切・
基立の段)

○河東節

○松の内 ○神樂獅子 ○隅田川舟の内 ○禿萬歳
○灸すゑの疊夜泊 ○酒中花 ○水調子 ○江戶櫻
○常陸帶花棚 ○亂髮 ○浮世傀儡師(外記物) ○
○菅野帶花棚 ○道成寺 ○浮世傀儡師(外記物) ○
○熊野帶花棚 ○住吉踊 ○浮世傀儡師(外記物) ○
○小銀冶名劍卷(牛大夫物)

○一中節

○辰巳の四季 ○松づくし ○泰平船づくし ○高
砂松の段 ○神樂高砂 ○墨繪の鳥臺 ○宿屋助六
心中 ○自然居士過去物語 ○源氏十二段 ○頼光
江間嶽 ○尾上雲雀 ○源氏十二段 ○頼光
度笠 ○鶴飼石和川 ○夏笠物狂 ○競牡丹
源平妹背の鶴合

○常盤津節

○老松 ○子寶三番叟 ○蜘蛛絲梓弦(仙臺淨瑠璃)
○穢戀雪關屏(關の月) ○四天王大江山入(古山姥)
○雨瀬月姿繪(葵實) ○辰鴛色相肩(辰鴛) ○帶文
桂川水(お半) ○後假名色七文字(源太) ○森靱猿
○松色操高砂(太神樂) ○再夕暮雨の鉢木(雨の鉢)

木 ○寄畏婚釣髭(釣狐) ○後之月酒宴鳥臺(角兵
衛獅子) ○忍愛瞳關守(宗清) ○花舞臺霞猿曳(新う
わ) ○忍寄戀曲者(將門) ○薪負雪問の市川(新山姥)
ば ○新負雪問の市川(新山姥) ○乘合船愚方萬
歲(乘合船) ○其扇屋浮名戀風夕霧 ○景清
勢獅子 ○劇花籠(勢獅子) ○釣女 ○戻り橋 ○三保
○大森彦七 ○松の島 ○三世相錦繪文章(おその六三)

○富本節

○年朝嘉例壽(長生) ○四十八手戀所譯(相撲をし
鳥) ○鞍馬獅子 ○其俤淺間嶽(淺間) ○道行戀飛脚
○梅川忠兵衛 ○花川身替の段(身替お俊) ○春
梅(高尾儀梅) ○新曲かぐら獅子(神樂獅子) ○春
夜障子梅(夕霧) ○新曲かぐら獅子(神樂獅子) ○春
行念戀曲物(松風) ○幾菊蝶初音道行(忠信) ○拙筆
力七以呂波(長作) ○草枕露の玉歌和(玉川) ○拙筆
須野 ○御代榮益穩富種(豐の前) ○高砂女夫

○清元節

○梅の春 ○榮能春延壽(長生) ○北州千歳壽(北
州) ○四季三葉草 ○其小唄夢郎(樺入) ○絲の
五月雨 ○小菊半兵衛 ○深山樓及榮樹振(保名)
御名殘押繪交張(鳥羽繪) ○月雪花名殘文畫(玉兎)
和い手向五字(子守) ○色彩間刈豆(かさね) ○大
○詠梅松清元(茶筌賣) ○色山解深川(待人) ○法

花姿色同(山歸り) ○月花妓友島(山姥) ○陰花手
向橋(吉原雀) ○復新三組連(大山参り) ○道行浮
六歌仙容彩(文星・喜撰) ○彌生のおかけ参り
おどけ俄者珠取(玉屋) ○道行旅路の花架(惡玉)
再春松種詩(舌出し三番) ○初霞淺間獄(淺間)
菊能色相圖(神田祭) ○造鉄菊陸言(菊畑三菊)
菊柳閣睦言(お岩) ○倭假名色七文字(手古舞)
重樓閣の小夜衣(白絲) ○月星晝夜の縫分(夜道星)
梅柳中宵月(清心) ○日月星晝夜の縫分(夜道星)
忍逢春雪解(三千浅) ○色増栞夕映(雁金) ○花雲
助相肩(雲助) ○青海波 ○助六曲輪菊(助六)

○新内節

○二重衣戀占(花咲綱五郎) ○若木仇名草(蘭蝶)
○千日寺名殘鐘(三勝半七) ○眞夢血染抱柏(花蘭)
平三 ○歸咲名殘の命毛(尾上伊太八) ○傾城音
羽瀧(おとは七郎兵衛) ○膝栗毛赤坂の段(○傾城音)
栗毛市子の段(○明烏夢泡雪(浦里) ○明烏後眞
夢 ○累身賣の段

○蘭八節

○道行相合巨燵(梅川) ○桂川戀の櫛(お半) ○鳥
邊山 ○花街の色糸(植木屋) ○道行菜種の亂咲(○鳥
半七) ○口舌八景(小いな半兵衛) ○小春治兵衛巨
疑の段 ○夕霧

○江戸長唄 (めりやす大陸摩を含む)

○矢の根五郎 ○無間の鐘 ○傾城道成寺 ○風流
相生獅子(相生獅子) ○二人枕久 ○英獅子(亂曲) 枕
獅子 ○百千鳥娘道成寺(さなきを道成寺) ○京鹿子娘
尾さげの段(高尾懺悔) ○英執着獅子(執着獅子) 娘
道成寺(娘道成寺) ○門出京人形(水仙丹前) ○劍鳥
流妹脊の柱建(柱建) ○柳籠諸鳥囀(鶯娘らしる
亂菊枕慈童(菊慈童) ○法樂舞 ○ねこのつま ○乗掛情
面(初咲法樂舞(劍鳥帽子) ○柳籠諸鳥囀(鶯娘らしる
鏡關寺小立(與侍) ○春詞娘七種(七種) ○童子戲
面被(めんかぶり) ○衣かづき思破車(やれ車) ○御代
童獅子 ○敦草吉原雀(吉原雀) ○限取安宅松(安宅)
松分紅葉(うはななり) ○其容形七枚起請(こもそ)
松子日初戀(小松曳) ○其容形七枚起請(こもそ)
○關東小六後雛形(淡島) ○其容形七枚起請(こもそ)
み ○女夫松高砂丹前(高砂丹前) ○菊壽の草摺
勢五大力 ○吹雪の雛形(雛形狂亂) ○三重霞嬉
數風戀歌(三重霞傀儡師) ○ゆかりの月(美面より) ○七
松風戀歌(濱松風) ○舞扇蘭生梅(舞扇) ○演
續花の姿繪(汐汲・猿廻し・老女) ○運樞手柳葉七
花(初め傾城・越後獅子・橋辨慶・直撲蛋) ○戀
男調松風(調松風) ○再春松種詩(舌出し三番聖) ○戀
異奇掛合(大神) ○四季詠寄三大字(門傾城・鹿島踊
○閑妓姿八景(節季候・心猿・晒女) ○正札附根元草
摺(正札附) ○寄三津再十二支(小原女・乙姫・四
つ竹) ○其九繪彩四季櫻(丁稚・天下るの傾城)

楠露櫻井正行木曾七騎落安宅切兼居士
 菊花童枕下僧歌會蘇宮三笑佛唐東岸會
 我與橋慶滋通天卷之鼓我莊陽成陽居
 關原調伏會我望月正章草薙泰山府君現巴會
 五番目物 鶴飼鐵槍熊坂項羽昭君善界松山
 鏡第六野檀風烏帽子折松馬天狗合利車憎
 石小鍛冶大鵝會雷城天子谷狗春日龍神大生
 蛇愛宕空也鵝達龍虎飛雲舟山栖國狗春日龍神大生
 蜘蛛現在一角仙安達原飛葉狩大上瓶海士張良
 麻皇殿山姥人橋融須南源狸々紅慶春上瓶海士張良
 在國經四季由良物狂徑山寺兵衛橫山玉取和
 浦物狂蛙都流物當香椎內府島越上宮太玉現
 景博院多物狂古初屋松瀨六代定香車一徒然眞上利加羅衣
 八景科山五輪碎東國西濱八景香龜笠取囉太刀堀奈良
 鷄羽上留宮太鼓瀧吉野古屋籠笠都芳弓矢立合箱崎宗良
 我見智宮太鼓瀧吉野古屋籠笠都芳弓矢立合箱崎宗良
 小町明安達解柴田吉野北條朝顏空蟬實方高安貞任伏島松
 院丹後物狂僧物城狂野鳥題松浦物狂和國隱松

浦粉川寺○反魂香○鷄龍田○池贊○苅萱○守屋
 佐々木○齋藤五○橫山○春近○十番切○千引○豐干
 ○護法○常陸帶○現在千方○泣不動○橘天狗

以上日本名著全集、第一期出版、「江戸文藝之部」全廿七卷及追加篇二冊は、第十一卷黃表紙廿五種を第一回配本として毎月一冊乃至二冊宛を刊行するもので、豫約申込は、大正十五年六月十六日を以て一旦締切りましたが、會員數の増大に伴ふ多量製産の利得を以て、益々いゝ本を作らんがため、その後も、また現在も、おそらく當分は將來も、會員の御紹介による新入會員の申込を歓迎致します。

○豫約會員外には頒たず、分賣の需めに應じ得ぬこと、また申すまでもなし。

○會費は一冊あて二圓六十錢。外に申込金一圓を申受ける。但しこれは豫約權ともいふべきもので毎月の會費とは別従つて一時拂の會員でも、二回拂の會員でも同様に申受く。

○送本料は、會費の外に一冊あて金十二錢を要す。

(終)